

視 察 報 告

米国ユタ州ソルトレイク郡 マグナを訪問して

総務文教常任委員長 今村定一

平成23年8月4日中学生（14名）のマグナ訪問に合わせ町長・議長の行政訪問に担当委員会の長として同行の機会を得ました。

同日16時15分成田発（直行）ソルトレイクシティ着で訪問。機上からの町並みは整然と整えられており茶色い山が目に入りました。

空港では入国審査に手間取りながらも無事に到着。空港には受け入れスタッフのピアスさん、シュルツさんらが出迎えてくれました。

用意して頂いた車で生徒たちと別れてそれぞれの予定の行動に移動。これまでの交流の経緯を私たち以上に理解をされ親密さを示しての対応に頭の下がる思いでした。

〈訪問2日目〉

2日目に今回の主目的であるソルトレイクシティ郡長ピーター・クルーン氏との姉妹都市締結への会談をいたしました。参加生徒も同行しての庁舎表敬訪問。郡長室に案内され、記念品交換もあり和やかな雰囲気での会談となりました。

郡長さんの穏やかな雰囲気とやさしい語り口、これまでの交流の意義と今後の継続を話されました。その場には郡の議長さんも同席されていました。町長が訪問の対応などに謝辞を述べられ、今後の交流について話されました。

会談の中で町長は、新しい文教施設が出来た時点でお招きしたいと話されたが、郡長さんの残任期間も後1年半ほど、次なるステップに向けて郡長立候補は考えていないことを知り、現在のトップ間での姉妹都市締結の実現を目指すことが望ましいと思います。

〈訪問3日目〉

3日目は夏季利用でも好評なスキー場を案内していただきました。グリーンシーズンは日本と同様、避暑地としても地域がら狩猟も釣りも盛んな所で、休日はお客様が多いそうです。

私達が訪ねた際も川沿いには多くの車が停車していました。山の自然岩や木々の美しさも抜群の景観です。目的地の周辺には湖があり、湖畔を二

周できるように整備され、多くの人が散策していました。山には残雪があり空の青さと木々の緑が一層美しく映えていました。

お国柄なのか人柄なのか宛に角オープンでおおらかで、終始和やかな時間を過ごす事が出来ました。これも今までの交流で深めた信頼によるものと確信いたしました。

この度の訪問で今後の湯沢町民とマグナ市民が、学生同様に交流しあえる事を願いつつ、町として議会として町民の理解を得られるように、一層の努力を図り、来年の姉妹都市締結に思いを馳せながら報告いたします。



男子のホームステイ先家庭

議会に 一言!!

前の議会は20人の議員の集団が議会でした。20人の個性の持った議員と、違った分野の知識を持った議員の集団が議会でしたが、今は12人の議員であります。町の予算規模が当時の6割と考えると、12人は妥当なのかも知れませんが、今議員に要求される事は、前以上に多種、多義に渡っています。予想もしなかった災害が発生しています。湯沢町として、議会としてどう向き合っていくのか、難しい時代に入り、議員の役割と責任も大きくなっているのではないのでしょうか。

町民の前で主張された

事は、実行されていますか。実現する為の行動をされていますか。議員の資質が議会の資質、町民の資質と評価されます。

議員の年金制度も変わり、「せめて3期は」の町民意識も変わるはず。次回の選挙で票を獲得する為の行動でなく、議員としての役割を果たす4年間にしたいものです。（50代・男性）